

研究全体構想図

学校教育目標

- ・進んで学び考える子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・元気でねばり強い子

重点施策	児童の実態	時代の要請
<ul style="list-style-type: none"> ◇確かな学力につながる学習指導の充実 ◇生きる力としての国語力を育てる言語活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◇基礎・基本の徹底 ◇学習規律の確立 ◇伝え合う力の育成 ◇生涯学習につながる読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◇基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得 ◇思考力・判断力・表現力等 ◇主体的に取り組む態度となる学習意欲



生きる力としての国語力を育てる国語教室の創造 ～豊かな言語能力を身につける言語活動の充実～

めざす児童像

- ・確かな言語能力を身につけている子
〔基礎的・基本的な知識・技能〕
- ・交流を通してよさを認め合い、考えを深める子
〔思考力・判断力・表現力等〕
- ・課題解決に向けて、最後まで粘り強く考えられる子
〔主体的に学習に取り組む態度〕



目指す児童像の系統性

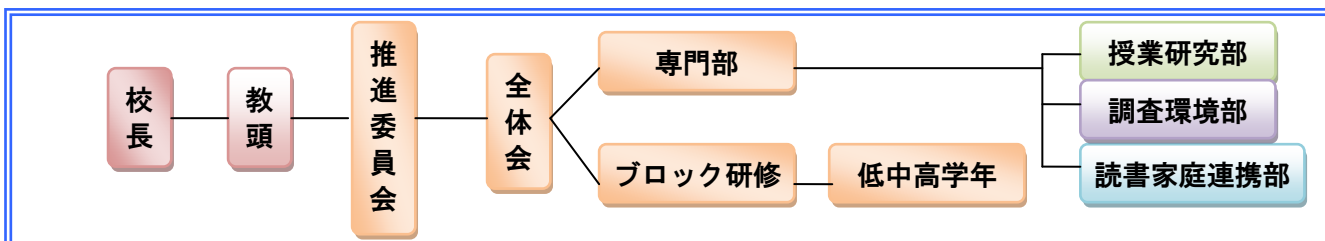


	確かな言語能力を身につけている子	交流を通してよさを認め合い考えを深める子	課題意識をもって読み、学習に生かせる子
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○大事なことを落とさずに話したり聞いたりできる子(話すこと・聞くこと) ○自分の考えを順序良く書くことができる子(書くこと) ○順序や場面の様子などに気づいたり、想像を広げたりしながら読むことができる子(読むこと) 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの考えのよいところを見つけて感想を伝え合える子 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しみながら本や文章を選んで読める子
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ○相手や目的に応じて話したり聞いたりできる子(話すこと・聞くこと) ○相手や目的に応じ、段落相互の関係に注意して、文章を書くことができる子(書くこと) ○内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読むことができる子(読むこと) 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の感じ方について違いのあることに気づき、そのよさを認め合える子 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、本や文章を選んで読める子
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ○目的や意図に応じて、的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたりできる子(話すこと・聞くこと) ○目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる子(書くこと) ○内容や要旨を考えながら読むことができる子(読むこと) 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の仕方に着目して、助言し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、複数の本を読み比べ、考えを深める子

主題に迫る仮説と手立て

- ①国語科の基礎的・基本的な知識・技能を明らかにし、それを活用する言語活動を位置づけた単元構成を組み立てれば、豊かな言語能力を身に付けることができる。
- ②目的意識・相手意識をもった「話す・聞く・書く・読む」などの活動を、交流の場で工夫すれば、豊かな言語能力を身に付けることができる。
- ③多様な読書活動や読書指導を工夫することにより読書生活を充実していけば、豊かな言語能力を身に付けることができる。

研究推進の組織を工夫する



<授業研究部>

- ・研究の中心となる授業研究会が効率的に進められるよう、ねらい達成のための手だてとその評価を重点とした指導案検討と並行学級での先行授業を授業研究部で実施する。事前の全体研修では、授業について説明し、授業の観点を明確にし、共通理解した上で研究協議がすすめられるよう工夫する。特に、学習者主体の発想による教材化研究や単元構成の工夫、学習の手引の工夫等の授業のあり方だけでなく、ワークショップ型の研究協議を試みるなど、授業力の向上と研究協議会の充実を図る。

<調査環境部>

- ・児童の国語に対する意識調査や児童の変容から、児童の実態の把握や改善点を考える。「集中力をつける。筆速が速くなる。文字を言葉としてとらえる。字が上手になる。文章表現の技法を覚える。文字に慣れ親しむ。」などを期待した月1回の視写力調査等を実施するとともに、学年段階に応じて行事後の作文を掲示する「国語の広場」や各教室の国語コーナーの工夫等、言語環境の充実を図る。

<読書推進部（家庭連携部）>

- ・読書生活の充実を図るとともに、読書と学習を結ぶ手立てを工夫する。「読書の木」運動、図書ボランティアとの連携（毎月曜日の朝の読み聞かせ「お話し宅配便」、毎水曜日の昼休みの「お話しレストラン」）や担任や教職員による読み聞かせ、図書委員による読み聞かせなどを推進する。読書郵便や親子読書等の具体的な取組、家庭学習のすすめの策定など家庭と一体となった活動を推進する。

実践につなげる授業研究会や研修等とする

○目の前の子どもに視点をあてた

「チャレンジングな授業」

- ・単元の終わり、ゴールを思い描く
- ・子どもが学習の主体となる実の場
- ・学びを手びくワークシートなど



○一人一人が研究の主体となる研究協議会と研修会

- ・教員一人一人が研究の主体である
- ・ワークショップ型研究協議会
- ・授業（づくり）の正解は複数ある
- ・積極的な研修会の参加と報告会など